

部活動改革通信

No.1
令和8年5月

豊橋市の中学校部活動改革における検討状況をお知らせします。検討の進捗状況など、順次お知らせしていきます。

豊橋市教育委員会

中学校部活動検討特別委員会のこれまでの取り組みと部活動等に関わる動き

年度	中学校部活動検討特別委員会の主な取り組み	部活動等にかかわる主な動き
令和2	運動部活動検討特別委員会の立ち上げ	
令和3	中学校部活動検討特別委員会に名称を変更 平日、休日の活動について提言を行う	
令和4	国の「運動部活動の地域移行に関する検討会議 提言」等に 合わせて、検討を開始	
令和5	改革推進期間の開始…休日の活動について検討を開始	・土曜日の活動を月に2回までとする
令和6	休日の活動について提言を行う	・参加できる大会の数に制限を設ける
令和7	国の「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」より、令和8年度から13年度までを改革実行期間に合わせて、平日、休日の活動について検討を開始	・拠点校部活動の運用開始 ・9月より（土）（祝）の部活動が原則活動しないこととなる ・Doのびるん de スクールの開始

中学校部活動検討特別委員会の組織

委員長・副委員長（校長・教頭）
スポーツ課 文化課 地域教育推進室 スポーツ協会 文化振興財団 総合型地域スポーツクラブ
市PTA連絡協議会 指定管理者 のびるん de スクール委託者 教員 事務局（学校教育課・教育政策課）

必要に応じて開催

拡大中学校部活動検討特別委員会 中学校運動部・文化部代表

部活動地域展開における国の動き

国の動きに合わせ、豊橋市でもスケジュールを定め、改革を進めていきます



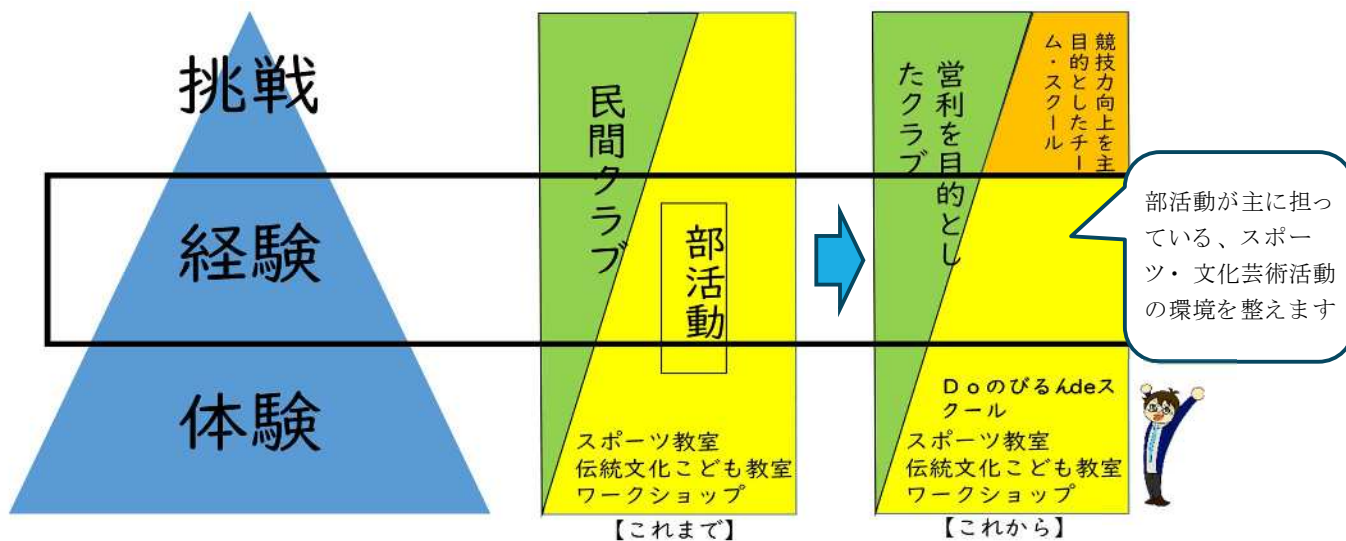
実証事業の実施

実証事業の成果を踏まえ、
部活動の地域展開等の
全国的な実施を推進

中間評価の結果を
踏まえた更なる
改革の推進

現在検討している方針案

子どもたちは、「やってみたい」（体験）、「上手になりたい」（経験）、「活躍したい」（挑戦）など、多様なニーズが考えられます。中学校部活動検討特別委員会では、「経験」を重視したスポーツ・文化芸術活動の環境づくりを検討しています。



課題として考える今後の検討事項

- (1) 運営団体・実施主体の整備
 - ・ 組織体制・財政基盤の整備
 - ・ 運営を担う人材の確保・育成
 - ・ ICT活用による運営業務の効率化
- (2) 指導者の確保・育成
 - ・ 多様な人材の発掘・マッチング・配置
(人材バンクの活用、大学生の活用促進、希望する教職員の兼職兼業)
 - ・ 適切な資質・能力の保障、人材育成
(研修会開催、公認指導者資格の体制整備、指導の手引きの作成、適切な処遇の確保)
- (3) 活動場所の確保
 - ・ 学校施設の有効活用
 - ・ 活動場所の管理運営の効率化
(ICT活用、鍵の受け渡しの負担軽減、指定管理者制度の活用)
- (4) 子どもの安全安心の確保
 - ・ 事故、暴力・暴言等の不適切行為やいじめの防止
 - ・ 事故や不適切行為が発生した場合の責任の所在の明確化
 - ・ 子ども及び指導者の保険への加入
- (5) 持続可能な大会運営体制の整備
 - ・ 地域で支える持続可能な大会運営体制の整備
 - ・ 多様なニーズを踏まえた大会や、子どもの参加機会の拡大を資する大会の開催

その他

- ・ アンケートの実施 … 令和8年2月に、保護者・生徒・教職員に対して「中学生の休日・平日を含めたスポーツや文化的諸活動の充実を旨とした今後の在り方について」のアンケート調査を実施しました。今後、アンケートの結果を参考にして、さらに検討を進めていきます。